

**フランス人アーティスト Jean Jullien（ジャン・ジュリアン）がメインビジュアルを担当！**  
**Jean Jullienの展览会や、マルタン・マルジェラのドキュメンタリー映画に**  
**お笑いコンビ・麒麟の川島明さんがプロデュースする体験型展示会など！**

## 「SHIBUYA PARCO ART WEEK 2021」

期間：2021年9月17日（金）～10月3日（日）



2021.9.17 - 10.03

©Jean Jullien Courtesy of NANZUKA



Jean Jullien によるパルコミュージアム・ギャラリーでの展览会  
2021.9.17 - 10.03

渋谷PARCOでは、昨年好評を博したART企画「SHIBUYA PARCO ART WEEK 2021」を、2021年9月17日（金）より開催します。今年はフランス人アーティスト、Jean Jullien（ジャン・ジュリアン）がメインビジュアルを担当し、渋谷PARCO 2Fの「NANZUKA 2G」と4F「PARCO MUSEUM TOKYO」にて展览会を開催いたします。また、8F「WHITE CINE QUINTO」ではマルタン・マルジェラ氏を追った貴重なドキュメンタリー映画「『マルジェラが語る“マルタン・マルジェラ”』 Martin Margiela: In His Own Words」を公開。8F「ほぼ日曜日」ではお笑いコンビ・麒麟の川島明さんがホテルの支配人になる、というテーマの体験型展示会「#ホテルカワシマ」を開催します。期間中は館内放送も要チェック！川島さんの声が渋谷PARCO館内に響きます。また、GALLERY等の対象店舗で配布している「ART PASSPORT」には、館内各所のART イベント情報が記載されている他、ART PASSPORTだけのお得な特典も。ジャン・ジュリアンのインタビュー記事も掲載されているので、是非お見逃しなく！

■タイトル：SHIBUYA PARCO ART WEEK 2021（シブヤパルコ アートウィーク ニセンニジュウイチ）

■内容：渋谷PARCOで芸術に特化した“ART WEEK”を開催。ギャラリーはもちろん、ショップにもアートにまつわる展示や商品がお目見えする。

・期間中ポケバル払いでお買物をすると、最大50,000円分のお買物まで10%ペイバック。※先着500名様。

・ミュージアムやギャラリー等の対象店舗で入場チケットまたは商品をご購入頂いた方へ、

さまざまな特典を受けられる「ART PASSPORT」を進呈。PARCO MUSEUM TOKYO、WHITE CINE QUINTO、GALLERY X、ほぼ日曜日等でご提示いただくと、OFFやノベルティなどお得なサービスを受けることができる。

■特設WEB： <https://shibuya.parco.jp/feature/detail/?id=3973>



対象店舗で提示すると、オトクな特典が！

★★画像ダウンロードはこちらから★★

<https://parco.box.com/s/pijmy6cz2btydi6jns7lcd0xcmxybtr>

※各ブランドのビジュアルについてはお問い合わせください。

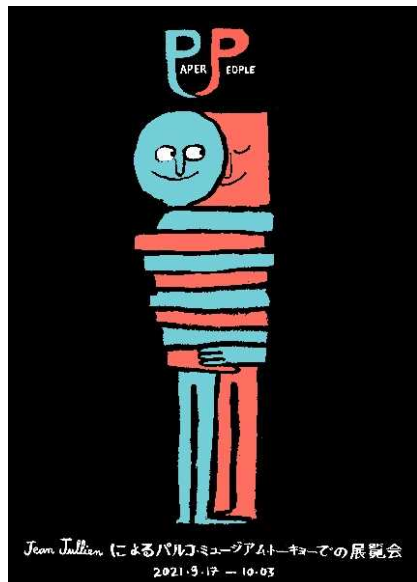
【本件に関するお問合せ】

パルコ広報事務局（株式会社イニシャル内） 担当：月代・日出・岸本・西野 [parco@vectorinc.co.jp](mailto:parco@vectorinc.co.jp) TEL：03-6821-5730

株式会社パルコ 渋谷店営業課 甲藤 [katto-yuu@parco.jp](mailto:katto-yuu@parco.jp) TEL：03-6712-7151

**TOPIC①：ジャン・ジュリアンの展覧会を開催！**

「SHIBUYA PARCO ART WEEK」のキービジュアルを担当したジャン・ジュリアンによる展覧会を、4F「PARCO MUSEUM TOKYO」と2F「NANZUKA 2G」にて開催。

**インスタレーション形式の展覧会 Jean Jullien Exhibition 「PAPER PEOPLE」**

©Jean Jullien Courtesy of NANZUKA

「PAPER PEOPLE」は、ペラペラの紙状のアーティストが、創作活動を行う様相を表したインスタレーション形式の展覧会。日本の漫画文化にも造詣の深いジュリアンならではの、コミカルでユーモアに満ちた感性を本展の幹として持ち込みながら、何気ない日常の素晴らしさを再認識させる美しい情景を描き出す。彼の故郷ブルターニュの美しい海、風に揺られる麦畑、魚や動物などの生物たち、庭から見える何気なく美しい風景、子供のオモチャなど、ジュリアンの描く作品の1点1点から、みずみずしいストーリーを読み解くことができる。

こうした作品は全てコロナ禍に見舞われたこの1年間で生まれ、本展では、およそ50点程度もの大小様々なペインティングが一堂に会して展示予定。また、本展覧会に合わせて、シルクスクリーンのEdition Print作品「PAPER PEOPLE」を限定販売。

**Jean Jullien Exhibition 「PAPER PEOPLE」**

- 会場：渋谷PARCO 4F 「PARCO MUSEUM TOKYO」
- 期間：2021年9月17日（金）～10月3日（日）
- 入場料：一般 700円／学生 500円／小学生以下無料
- 「ART PASSPORT」特典：ご提示の方、入場料100円OFF
- URL：<https://art.parco.jp/museumtokyo/detail/?id=723>
- 主催：PARCO ■キュレーション：NANZUKA

**新作個展 「POCKET PARENTS」**

©Jean Jullien  
Photo by Shigeru Tanaka  
Courtesy of NANZUKA



©Jean Jullien  
Photo by Shigeru Tanaka  
Courtesy of NANZUKA

ジャン・ジュリアンの新作個展「POCKET PARENTS」を開催。「PAPER PEOPLE」とはまた別の視点で作られた作品を通じて、ジュリアンの家族、また彼自身が親としての経験をもとに、歳を重ねることや、増してゆく責任をユーモラスに物語として展開していきます。ジュリアンはインタビューの中で、あるものを違う媒体で表現するビジュアルトランスレーションについて、「原作とはまた違ったものが新たに作り出されることが興味深い」と言及しています。本展「POCKET PARENTS」では小さな銅像と、その息子のキャラクターが登場し、様々な媒体によって制作された作品で世界観を伝えます。

**「POCKET PARENTS」**

- 会場：渋谷PARCO 2F 「NANZUKA 2G」
- 期間：2021年9月17日（金）～10月3日（日）

**Jean Jullien (ジャン・ジュリアン)**

1983年、フランス生まれ。イラストレーターとして雑誌やファッションブランドに作品提供をする傍ら、ペインティング作品も精力的に制作。日本の漫画文化に造詣の深いことでも知られている。

Instagram：[https://www.instagram.com/jean\\_jullien/](https://www.instagram.com/jean_jullien/)

©Timothée Chambovet

## TOPIC②：天才デザイナー、マルタン・マルジェラを追ったドキュメンタリー映画



© 2019 Reiner Holzemer Film – RTBF – Aminata Productions

「『マルジェラが語る“マルタン・マルジェラ”』 Martin Margiela: In His Own Words」が9月17日(金)より「WHITE CINE QUINTO」はじめ、全国順次公開。

本作は、公の場に一切登場せず、撮影・対面インタビューにも応じない型破りでエレガント、突然の引退から10年以上たった今でも大きな影響力を持つ謎の天才デザイナー、マルタン・マルジェラを追った貴重なドキュメンタリー映画。

監督・脚本・撮影：ライナー・ホルツェマー（『ドリス・ヴァン・ノッテン ファブリックと花を愛する男』）

撮影：トゥーン・イレハム／編集：ヘルマー・ユングマン／音楽：dEUS

出演：マルタン・マルジェラ（声のみ）、ジャン＝ポール・ゴルチエ、カリーヌ・ロワトフェルド、リドヴィジ・エデルコート、キャシー・ホリン、オリヴィエ・サイヤールほか

日本語字幕：額賀深雪

配給・宣伝：アップリンク

## 『マルジェラが語る“マルタン・マルジェラ”』 Martin Margiela: In His Own Words

■会場：渋谷PARCO 8F WHITE CINE QUINTO

■期間：2021年9月17日（金）～公開

■「ART PASSPORT」特典：ご提示の方、一般料金1,900円から300円OFF※一部作品除く

■公式サイト：<https://www.uplink.co.jp/margiela>



**TOPIC③：麒麟・川島明がホテル支配人に！？体験型展示会「#ホテルカワシマ」開催！**



お笑いコンビ・麒麟の川島明さんがホテルの支配人になる、というテーマの体験型展示会「#ホテルカワシマ」を開催。川島さんの独自の感性で仕込まれた、ホテルの部屋に見立てたいくつかのスペースをめぐりながら、各部屋毎にネタを体感できる。またART WEEK期間中、渋谷PARCOの館内放送も要チェック。川島さんの声が、PARCO館内に響きます。こちら是非お聞き逃しなく。

**#ホテルカワシマ オリジナルグッズ**

※画像はイメージです。



#ホテルカワシマドアノブサイン (全4種・各880円)



#ホテルカワシマ ホテルキー (全4種・各880円)



#ホテルカワシマ 歯ブラシ (全2種・各495円)

「#ホテルカワシマ」

- 会場：渋谷PARCO 8F 「ほぼ日曜日」
- 期間：2021年9月17日（金）～11月7日（日）
- 入場料：各部屋の展示をめぐるチケット 400円～ ホテルロビー 無料
- 「ART PASSPORT」特典：ご提示の方、川島さんのInstagramで、タグ大喜利の最後につける“褒め言葉”約18種からセレクトしたステッカー「#褒めタグステッカーガチャ1回券」を進呈。
- URL：[https://www.1101.com/hotel\\_kawashima/index.html](https://www.1101.com/hotel_kawashima/index.html)



※ステッカーイメージ。

※ホテルの部屋をめぐるチケットは公式ページからご予約いただけます。  
 ※9月10日（金）～ご予約開始、ご予約方法の詳細は、9月7日（火）に上記のイベントページにてご案内予定。



**麒麟 川島明 (キリン カワシマアキラ)**

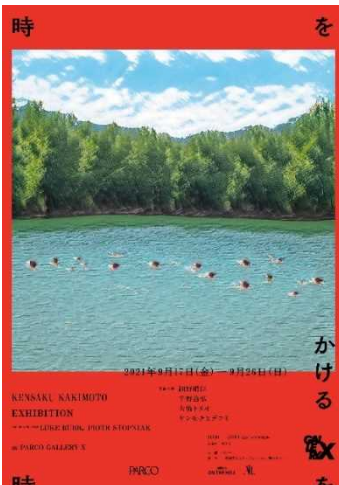
1979年2月3日生。AB型。京都府出身。NSC大阪校20期生。1999年、田村裕とお笑いコンビ・麒麟を結成。「M-1グランプリ」決勝に5回進出。2021年4月朝の情報バラエティ番組「ラヴィット！」(TBS)で自身初の帯番組MCに就任。その他、TV、ラジオ、CMなどに多数出演中。自身のInstagramにて発信中の“タグ大喜利”をムック化した『#麒麟川島のタグ大喜利』が、宝島社より発売中。

## SHIBUYA PARCO ART WEEK ショップ企画

## B1F : GALLERY X

期間中2つの企画を実施。前半はフォトグラファーの柿本ケンサクさんの展覧会を開催。後半は、2020年パルコの新しいカルチャーフェスティバル「POND」にも参加し、空間デザインや什器製作を手掛ける「物百」とイラストレーター・くらちなつきの展示会を開催。

## Kensaku Kakimoto Exhibition 時をかける Collaboration with Luke Bubb, Piotr Stopniak



演出家・映像作家・撮影監督として、映画やコマーシャルフィルム、ミュージックビデオ、広告の世界で幅広く活躍しているアーティスト「柿本ケンサク」による展覧会。本展覧会は「時をかける」と題し、音楽現象によって生まれ変わる写真の変化を独自のアルゴリズムで表現した作品「Trance Music」をメインに、アーティスト・柿本ケンサクが過去に発表した「Trimming」シリーズ、「TRANSLATOR」シリーズも新たな方法で展示。また柿本ケンサクによるリモート映像プロジェクト「+81FILM」の新作『DROP BY DROP』が完成。本新作は、ハンガリーを舞台に柿本ケンサク自らが監督となり、ケンモチヒデフミが楽曲提供として参加し制作。渋谷PARCO8F「ホワイトシネキント」にて新作を含む4編、9月25日(土)17時より一夜限りの上映も。

## 柿本ケンサク



映像作家、写真家。多くの映像作品を生み出すとともに、広告写真、アーティストポートレートなどをはじめ写真家としても活動。2016年、代官山ヒルサイドフォーラムにて写真展『TRANSLATOR』展を開催。同年11月、ART PHOTO TOKYOに参加。2017年ニューヨークでの個展「HYOMEN」を、Taka Ishii Gallery New Yorkにて開催。同年、写真集「TRANSLATOR」を発表。2021年「TRANSFORMATION」展を開催。同年、国際美術展「水の波紋」に選出される。映像、写真という境界を越えた活動を広げている。2021年大河ドラマ「青天を衝け」メインビジュアル、タイトルバックを演出。同年LINE NEWS「VISION」ドラマが配信。映画「恋する寄生虫」の公開を控える。

## 「Kensaku Kakimoto Exhibition 時をかける」

- 会場：渋谷PARCO B1F「ギャラリー-X」
- 期間：2021年9月17日(金)～9月26日(日)
- 入場料：500円
- 「ART PASSPORT」特典：ご提示の方、入場料200円OFF
- 主催：パルコ ■協力：一般社団法人オンザヒル・Alt.VFX・堀内カラー
- 楽曲提供：細野晴臣・半野喜弘・大橋トリオ・ケンモチヒデフミ
- URL：<https://art.parco.jp/galleryx/detail/?id=720>

## 物百×くらちなつきPOP UP



2021.9.29 wed - 10.3 sun  
GALLERY X (SHIBUYA PARCO B1F)



手のひらサイズの物を扱うヴィンテージショップ「物百」と、雑誌「GINZA」の連載イラストなど様々なメディアにイラストを提供するイラストレーター・くらちなつきによるPOPUPを開催。「物百」のアイテムや「くらちなつき」の作品を販売。フラワーショップ「綴-tszuru-」と「MOISTUALIZED」も参加して、アンダーグラウンドな雰囲気の渋谷PARCO B1F「CHAOS KITCHEN」が期間限定で花に溢れる華々しい空間に変わる。



## 物百

物百では、手のひらサイズの物を扱います。部屋の窓辺に置いてもいいし、仕事場のデスクの上に飾ってもいい。カバンに入れて持ち歩いてもいい。もちろん手のひらにのせてもいいです。ちょうどいいサイズの気に入る物を見つけてください。

<https://www.instagram.com/mono100tokyo/>



くらちなつき イラストレーター/ファッションイラストレーター  
1993年愛知県生まれ。武蔵野美術大学油絵学科を卒業後活動開始。主なお仕事にマガジンハウス「GINZA」の連載イラストなど。広告、雑誌、アパレル、商品など様々な媒体にイラストを提供。

[https://www.instagram.com/natsuki\\_kurachi/](https://www.instagram.com/natsuki_kurachi/)

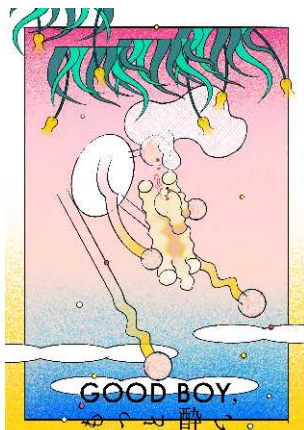
## 「物百×くらちなつきPOP UP」

- 会場：渋谷PARCO B1F「ギャラリー-X」
- 期間：2021年9月29日(水)～10月3日(日)
- 入場料：無料
- 「ART PASSPORT」特典：ご提示の方、ステッカー進呈 ※数量限定

## 1F : COMING SOON

1F「COMING SOON」では、期間中2つの企画を開催。前半はイラストレーター＆アーティストの大河紀の展示会「GOOD BOY, もっと酔い」を実施。天地がひっくり返ったような“酔っ払い”の内装も必見。後半はイラストレーター、一乗ひかるによる展示「CHIDORI ASHI」を開催。会場では一乗ひかるのアート作品やグッズの展示販売に加えて、飲食ブランドとコラボした限定オリジナルグッズが登場。

## GOOD BOY, もっと酔い



イラストレーター＆アーティストの大河紀の個展『GOOD BOY, もっと酔い』。酔っ払いの世界を再現した“天地がひっくり返った空間”に、「酒に酔い、愛に酔う、美しい世界に酔いしれるということ」をテーマにした作品が目見え。会場では、大河紀のアート作品やグッズの展示販売に加え、祖師谷大蔵にあるブリュワリー「RIOTBEER」とコラボした本展限定オリジナルクラフトビール2種も販売される。ラベルに描かれているのは、わいわい飲みたくなるようなカラッと晴れた日中と、穏やかにしっとり夜に溶けていくような日暮れをイメージしたビジュアルだ。大河紀が好む「お酒」と「愛犬」から着想を得て、テーマである「酔い」を表現したイラストになっている。



## 大河紀

アーティスト / イラストレーター。岡山県出身、東京都在住。  
多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒。 マガジンハウス雑誌『POPEYE』をはじめ、挿絵や装画、広告PRビジュアルなどを手がけている。 2020年 HB File Vol.30 日下潤一特別賞 / 第22回グラフィック1\_WALL 上西 祐理奨励賞 / 第215回ザ・チョイス入選。  
https://norikawa0713.wixsite.com/mysite-2



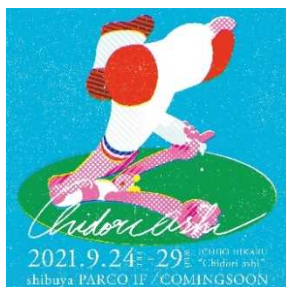
## RIOTBEER (ライオットビア)

代表の上地風吾が仲間と一緒に2018年に祖師谷大蔵にオープンした、クラフトビールのお店「RIOTBEER」。伝統的なビールから旬を取り込んだビールまで常時10種類以上あるオリジナルビールと居心地の良い空間が多くの人から愛されている人気のショップ。  
URL : <https://www.riotbeer.biz>

## 「GOOD BOY, もっと酔い」

- 会場：渋谷PARCO 1F「COMINGSOON」
- 期間：2021年9月17日（金）～9月22日（水）
- 入場料：無料
- 「ART PASSPORT」特典：ご提示の方、ステッカーを進呈。※数量限定

## 一乗ひかるの展示「CHIDORI ASHI」、モチーフは“お酒に浮かれた人たち”



今最も勢いのある若手イラストレーター、一乗ひかるによる展示「CHIDORI ASHI」。個人で作品制作をするかたわら、書籍の表紙や広告のヴィジュアルなど幅広く活躍している。会場では、“お酒に浮かれた人たち”をモチーフに描かれたイラスト作品のほか、徳利などの陶器作品を展示・販売する。さらに、本展開催にあわせて山形県の楯野川酒造とスペシャルコラボした日本酒も100本限定で発売。ピピットな色合いが目を惹く、展示のメインビジュアルがラベルになっている。デジタルとアナログが融合された注目のアートをこの目に焼き付けよう。



## 一乗ひかる (いちじょう ひかる)

2018年よりイラストレーターとして活動。印刷技法をベースとした色彩表現と、グラフィカルでヘルシーなイラストレーションを心がけている。表情をなくすことで受け手に想像してもらい、顔を描かないことで美醜の判断をさせない意図がある。書籍、広告、パッケージを中心に幅広く活動。  
https://www.instagram.com/ichijou\_hikaru\_/

## CHIDORI ASHI

- 会場：渋谷PARCO 1F「COMING SOON」
- 期間：2021年9月24日（金）～9月29日（水）
- 入場料：無料
- 「ART PASSPORT」特典：ご提示の方、ステッカーを進呈。※数量限定

## ■1F：H.P.DECO

## 「ma.macaron」による装飾アートで彩られた架空のホテル



「お菓子のマカロンのように、たくさんの色に囲まれて生活したい」。  
ma.macaron氏は、そんな気持ちを胸に作品制作をするハンドメイド刺繍アーティストだ。横振り刺繍によって、生地をひと針ひと針埋めることで立ち現れるキュートでシュールなアートピースたちは、ひと目見たら忘れられない印象を残す。  
「H.P.DECO アート感のある暮らし」の「THE ma.macaron HOTEL」では、素敵なインテリアやアート、こだわりのオブジェ、装飾フレームの中から飛び出す美しい花や動植物など、ma.macaron氏が刺繍で表現した作品をホテル空間に見立てて展示する。まるで仮想空間に迷い込んでしまったかのような、幻想的な世界を体験できる。



## ma.macaron (マ.マカロン)

2006年に活動を開始した、ハンドメイド刺繍アーティスト。手振り刺繍で表現されるその作品には、機械では実現できない人間的な“味”が刻まれている。アートピースの他にも、ヴィンテージウェアに刺繍を施した一点ものやアクセサリーなども制作している。

<https://www.instagram.com/mamacaron/?hl=ja>

## THE ma.macaron HOTEL

- 会場：渋谷PARCO 1F H.P.DECO アート感のある暮らし
- 期間：2021年9月17日（金）～10月3日（日）
- 入場料：無料

## ■1F：Discover Japan

## 「渋谷柳造窯」のキャラクター作品「bobo」を販売



「渋谷柳造窯」は、飛騨高山に江戸末期より続く伝統ある窯元だ。多くの窯元が特定の柄や作風を形式や様式として継承する中、「伝承は衰退、伝統は革新の連続」をモットーとし、各代ごとにアップデートしたものづくりをしているのが同窯元の特徴。それを体現するのが、七代渋谷柳造が手がけるプロダクトライン「7/s（セブンス）」からリリースされている、遊び心とストリート感に溢れたキャラクター作品「bobo」である。「Discover Japan Lab.」では、「ART WEEK」にあわせて「bobo」をフルラインナップ展開。



## 渋谷柳造窯

1841年、江戸末期に尾張からろくろ師、九谷から絵付師を招き高山の渋谷（現岡本町）で御用窯として開窯した渋谷焼。渋谷柳造窯は、現在では2窯のみが残る渋谷焼の伝統ある窯元のひとつ。多くの窯元が特定の柄や作風を形式や様式として継承する中、「伝承は衰退、伝統は革新の連続」をモットーとして、各代ごとにアップデートしたものづくりをしている。

## ■1F：PORTER EXCHANGE

## ラッセル・モーリスが手がける「Gasius」とのコラボ商品を限定販売



PORTER EXCHANGEでは、一部店舗にて限定発売していた日本在住でイギリス出身のアーティスト、ラッセル・モーリスが手がけるファッションブランド「Gasius（ガシウス）」とのコラボ商品をART WEEK期間中渋谷PARCOでも限定発売。バッグを始めとするアイテムには、ラッセルが「PORTER」のために考案したオリジナルキャラクター“Old Bag”がプリントされている。このキャラクターは、「ポロポロの古いスーツケースである“Old Bag”（英語の俗語で年寄りを意味する）が、出先で酔っ払い、なんとかホテルに戻ってきて、PORTER（ホテルマン）に部屋まで運んでもらうため口笛を吹いている」という、ラッセルが考えたストーリーに基づきデザインされた。

## Russell Maurice (ラッセル・モーリス)

1975年生まれ。グラフィックアーティスト。1993年、友達のために手書きをした10枚のカスタムTシャツで得た資金をもとに「The Gasface」をスタート。2003年に「Gasius」に改名した。

## ■2F：OIL by 美術手帖

### 日々の揺らぎを描き出す、榎本マリコの個展『モーメント』



榎本マリコ《100years》2021 キャンバス  
にアクリルガッシュ 145.5 × 112 × 3 cm

近年、YUKIのライブ映像作品『High Times』のカバーワークや、チョ・ナムジュの小説『82年生まれ、キム・ジョン』、小手鞠るいの小説『美しい心臓』の装画など、目覚ましい活躍をしている、アーティストにしてイラストレーターの榎本マリコ氏。「OIL by 美術手帖」では、そんな彼女の個展「モーメント」を開催。同展では、コロナ禍において一瞬一瞬の気持ちの揺らぎを記録するように制作した新作が発表される。榎本氏が描く、植物や動物、建築物、風景などに覆われた肖像画は、見る者に多様な解釈を呼び覚ます。抗えない日々の生活のなかで、作家が守ろうとした表現とは。その目で確かめよう。



#### 榎本マリコ (Mariko Enomoto)

1982年生まれ、東京都在住。日本画家であった曾祖父の影響もあり、幼い頃から自然と絵のある環境で育つ。ファッションを学んだのち、独学で絵を描き始める。

<http://www.mrkenmt.com/>

#### 榎本マリコ「モーメント」

■期間：2021年9月9日（木）～10月3日（日）

■会場：渋谷PARCO 2F OIL by 美術手帖

■入場料：無料

■「ART PASSPORT」特典：ご提示かつ商品ご購入の方、オリジナル缶バッジを進呈。

## ■2F：KENZO

### 高田賢三の顔がアートワークになったアイテムが登場



2020年10月、「KENZO」の創業デザイナーである高田賢三氏が逝去した。「KENZO」AW2021コレクションは、そんな高田氏の残したアーカイブにオマージュを捧げたアイテムを展開。中でも彼の顔をアートワークで表現し、刺繍で描いたTシャツやスウェットは、今シーズンもっともアイコン的なアイテム。「KENZO」の自由、喜び、多様性、自然への愛、コントラストが生み出す調和を、色彩とプリントで多分に表現した秋冬コレクション。“ART WEEK”期間内にて、ご購入の方にはオリジナルノベルティのプレゼントがあるのでお見逃しなく。

## ■2F：k3

### ideas and PAINTING×PARCOのiPhoneケース販売 & 「Carne Bollente」とトム・オブ・フィンランドがコラボ



「k3」では、ideas and PAINTINGとコラボしたPARCO限定カラーのiPhoneケースを発売中。1点ずつ異なるデザインをハンドペインティングした、エクスクルーシブなアイテム。

また、取扱中のファッションブランド「Carne Bollente」では、2021AWコレクションとして架空のボルノ・スタジオ「CB Corp Productions」の物語を軸に、70年代後半から80年代前半のカルチャー&ファッションにインスパイアされたアイテムを展開中。中でも目を惹くのが昨年、渋谷PARCOで日本初の個展が行われたゲイアートの先駆者、トム・オブ・フィンランド氏とのコラボ商品だ。彼が70年代に描いた作品をプリントしたTシャツやスウェットには、“KEEP SEXUALITY OPEN”（セクシュアリティをオープンに）をはじめ、ポジティブなメッセージを刻印。まだ一般に知られていない彼の中のユーモアに敬意を表した商品。これらの商品の売り上げの一部はトム・オブ・フィンランドの財団に寄付される。





## ■3F : PAMEO POSE

## フォトグラファー菅野恒平の展示&amp;グッズがお目見え



「ファッションで自分らしさを表現する」というフィロソフィーに基づき、ロマンティックかつガーリーなコレクションを打ち出すファッションブランド「PAMEO POSE」。同ブランドがキュレーションするギャラリーショップ「PAMEO GALLERY POSE」では、フォトグラファー菅野恒平氏がニューヨーク在任中に撮った作品を展示。ドラッグクイーンショー、ヴォーグナイト、レザーフェスなどモチーフは多種多様だが、NYのクイアなアンダーグラウンドシーンのどこか危険な香りの漂うパワフルな作品が並ぶ。展示中はこれらの作品を落とし込んだTシャツやZINE、カレンダーなどオリジナル商品も販売。



## 菅野 恒平 (Kohey Kanno)

写真家、日本生まれ。2008年に渡米し、2016年に帰国。現在は東京をベースに活動中。過去の作品に「ハネムーン」(Session Press)、岡部桃との共著「Unseen / Tsunami」(Dashwoodbooks)、近著に「Invisible Memories」など。2016年JAPAN PHOTO AWARD受賞、2017IMAプロジェクト「BEYOND 2020 #5」に選出。アムステルダム、東京、パリにて巡回展。  
www.koheykanno.format.com

## ■3F : FRED PERRY

## チャールズ・ジェフリーとのコラボコレクションを展開



ロンドン発の個性派ブランド「チャールズ・ジェフリー ラバーボーイ」を手がける、デザイナー兼アーティストのチャールズ・ジェフリーをコラボレーターに迎えたコレクションが登場。テーマとなるのは、彼自身が情熱を傾けてきた音楽、特に学生時代を過ごしたロンドンで当時一世を風靡したニューレイプやインディーズのシーンだ。ミュージシャンのバトリック・ウルフやクリスタル・キャッスルズにインスパイアされつつ、ジェフリーが独自の解釈で再構築した「フレッドペリー」のアイコン的なアイテムは、音楽やアートを愛する者にはたまらない仕上がりになっている。サブカルチャーのユニフォームとして名高い「フレッドペリー」の新展開に要注目しよう。

## Charles Jeffrey (チャールズ・ジェフリー)

1990年、イギリス生まれ。セント・マーチン美術学校を卒業後、自身が学生時代に主催していたクラブイベント「ラバーボーイ」を冠した「チャールズ・ジェフリー ラバーボーイ」を2016年に立ち上げた。

[https://www.instagram.com/\\_charlesjeffrey/?hl=ja](https://www.instagram.com/_charlesjeffrey/?hl=ja)

## ■4F : Meets by NADiff

## オザキエミによる個展「Good something for you」を開催



オザキエミによる個展「Good something for you」を開催。2020年には渋谷PARCO S/S NEW LOOKのメインビジュアルを作成。ポップでユーモラスな作風で人気を博し、ファッションや音楽関連を中心に幅広いジャンルで活動しているアーティストだ。今回のイベントでは、作品展示に加え、フィギュアやリングラフプリントの作品、ZINE、Tシャツなどのグッズも販売。

## オザキエミ

イラストレーター／アーティスト。ポップなキャラクターたちが織りなす、ユーモアのある世界観を描く。広告や雑誌、商品デザイン、企業やブランドとのコラボレーションなど様々なジャンルと媒体で活動の幅を広げている。  
<https://www.instagram.com/gggggw/>

## EMIOZAKI EXHIBITION "Good something for you"

- 期間：2021年9月15日（水）～10月3日（日）
- 会場：渋谷PARCO 4F Meets by NADiff
- 入場料：無料
- 「ART PASSPORT」特典：提示かつ¥4,000以上ご購入でFUROSHIKI SHIKIプレゼント。

## ■4F : DELFONICS

## イラストレーター永井博との特別なコラボレーション



2017年に永井博とのコラボレーションしたアイテムのデッドストックを9/8（水）から販売。ミュージシャン大瀧詠一の名盤「A LONG VACATION」のレコードジャケットに代表される、トロピカルでクリアな風景や時代を切り取った普遍的な作品を、レコードバッグやポーチなど、雑貨に落とし込んだアイテムが並ぶ。

また、9/24（金）まで「HIROSHINAGAI×Rollbahn」アーカイブ展を開催。2017年にコラボレーションしたロールバーン（※展示のみ）と、永井博の原画を展示。過去にコラボレーションをしたデッドストックアイテムも併せて販売。※数量限定。※ロールバーンの販売は無し。

## 永井博（ながいひろし）

1947年12月22日、徳島市生まれ。グラフィックデザイナーを経て、1976年よりイラストレーターとして活躍。大瀧詠一の「A LONG VACATION」、 「NIAGARA SONG BOOK」などのレコードジャケットや広告ビジュアルは今もなお、語り継がれているほか、現在も、幅広く愛される普遍的な作品を生み出している。DJ、音楽評論など、多岐にわたる活動も展開。  
<https://www.instagram.com/hiroshipenguinjoe/>

## 「HIROSHINAGAI×Rollbahn」アーカイブ展

- 期間：～9月24日（金）
- 会場：渋谷PARCO 4F DELFONICS
- 入場料：無料

## ■4F：ほぼ日カルちゃん

## 増田セバスチャンと6%DOKIDOKIのショップがOPEN！



今年東京と大阪で開催される展覧会に先立ち、「ほぼ日カルちゃん」は期間限定の「増田セバスチャンと6%DOKIDOKI」のショップが大変身。「6%DOKIDOKI」とは、増田氏が1995年に原宿でオープンし、今年26年目を迎えたショップ・ブランド。1998年には渋谷PARCOクアトロにも店舗があり、2011年のポップアップ以来10年ぶりに渋谷PARCOにカムバックする。今回のコラボショップでは、オープン当時90年代の原宿と現在進行形の2021年の空気感をミックス。最新ファッションアイテムのほか、過去に発売されたデッドストックアイテムも登場。オープン当時の写真や商品カタログの一部が展示されるほか、商品デザインの元となったアート作品もお披露目される。90年代から現在に続くカラフルで力強い“Kawaii”の変遷に触れられる絶好のチャンスだ。



## 増田セバスチャン

アーティスト。一貫した独特な色彩感覚からアート、ファッション、エンターテインメントに渡り作品を制作。Kawaii文化の第一人者とも知られ、2017年度文化庁文化交流使、2018年度NYU客員研究員、2019年Newsweek Japan 世界が尊敬する日本人100人に選定。

[https://www.instagram.com/sebastian\\_masuda/](https://www.instagram.com/sebastian_masuda/)

## 増田セバスチャンと6%DOKIDOKI 1995→2021

- 会場：渋谷PARCO 4F ほぼ日カルちゃん
- 会期：21年9月17日（金）～10月3日（日）
- 入場料：無料
- 「ART PASSPORT」特典：ご提示の方、カルちゃんチケットホルダーもしくはマスキングテープのいずれかを進呈。※なくなり次第終了。

## ■5F：calif

## 青山哲士の作品展「21XX A Future Odyssey ～百年後のいつか～」



「calif」では、青山哲士の作品展「21XX A Future Odyssey ～百年後のいつか～」を開催。青山哲士は2020年に日本テレビ「明石家さんまの転職DE天職」に出演し、注目を集めたアーティストだ。「ネガティブな面だけの想像を膨らませて未来を否定するより、そんな不安を吹き飛ばすようなポップでポジティブな明るさで、AIとの未来を楽しみにしよう」をテーマにして描かれた作品は、混迷を極める現代に差す希望の光のよう。展示期間中は、展示作品をプリントしたコラボアイテムも発売。今回のコラボのために描き下ろされた「No diversity, no future (XL ver.)」と、番組内でも紹介された「End of Century」の2作品を使用したTシャツなどがお目見えする。



## 青山哲士（あおやま てつじ）

50歳を目前に経営していたジュエリーショップを畳み、長年の夢であったアーティストに転身。2019年より独学で絵画制作をスタートする。日本テレビ「誰も知らない明石家さんま」に出演し話題に。

<https://www.instagram.com/aoyamatetsuji/>

## 21XX A Future Odyssey ～百年後のいつか～

- 会場：渋谷PARCO 5F calif
- 期間：2021年9月17日（金）～10月3日（日）
- 入場料：無料

## 5F : joutie

## 『10TH ANNIVERSARY BOOK』発売 &amp; 『F.A.C.S.I.M by joutie 10TH ANNIVERSARY EXHIBITION』開催



2021年に10周年を迎えた「joutie」。今回の“ART WEEK”期間中には、渋谷PARCO先行で「joutie 10TH ANNIVERSARY BOOK」を販売。BOOKには、新作のAWコレクション、AMIAYAをモデルに東京の自宅撮影したアーカイブアイテム、地元浜松で撮影したWinterコレクション、そして10年ぶりにカムバックをしたモデル・太田莉菜を親交のある俳優・仲野太賀が撮り下ろしたという注目のルックも収まっている。他にも、「joutie」の軌跡やAMIAYAロングインタビューなど、10年を振り返り、AMIAYAからの感謝と熱い想いが詰まった一冊になったそうだ。さらに**9月24日（金）～9月26日（日）には1F POPUP SPACEにてアートギャラリーを開催**。「joutie 10TH ANNIVERSARY BOOK」の写真や歴代カタログ、これまでにコラボレーションをした5名のアーティストが描き下ろしたグラフィックの展示が行われ、本展にて「10th anniversary BOOK」を購入すると会場限定のポストカードを進呈。

## F.A.C.S.I.M by joutie 10TH ANNIVERSARY EXHIBITION

- 会場：渋谷PARCO 1F POPUP SPACE
- 期間：2021年9月24日（金）～9月26日（日）
- 入場料：無料

## 小町渉



東京都出身。コラージュ作品が、アート蒐集家としても著名な米俳優/映画監督「DENNIS HOPPER（デニス・ホッパー）」のコレクション作品となり、それを機に本格的にアート活動を開始。アパレルブランド「CHRISTOPHE LEMAIRE（クリストフルメール）」とのコラボレーション展をパリで開催し、欧米で高い評価を得る。以降、パリのセレクトショップ「colette（コレット）」での展示、パリの老舗デパート「Le Bon Marché（ルボンマルシェ リーブゴージュ）」Collections Particulieres展に参加。ミュージシャン「BECK（ベック）」のヨーロッパツアーオフィシャルTシャツのデザイン等、欧米で精力的に活動する。  
<https://www.instagram.com/watarukomachistudio/>



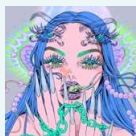
## TM paint

クリエイティブレーベルオーナー。国内外のアーティストの音源のカバーアート、ライブポスター、Tシャツなどを手がけ、ROCKフェス、アパレルブランドへのグラフィック提供や、PORTRAIT WORK SHOPなど…たまにオリジナルアートを製作しつつ、絶賛活動中。2017年よりクリエイティブレーベル『THE -B- MART』を始めた。  
<https://www.instagram.com/tmpaint/>



## aimi odawara

イラストレーター。主に個展やグループ展の開催や雑誌、書籍の挿絵にて活躍中。BEAMS TやJACKSON MATISSE、Kinetics、ABC-MART等へのグラフィック提供をした。2014年より自身のブランドI&MEを立ち上げ、デザイナーとしても活動。シニカルで残酷、もしくは性的な光景を、温かく人間らしいタッチでポップに描きとるアーティスト。イラストレーションをはじめ、コラージュや陶器など手法を問わず多数の作品を制作する。  
<https://www.instagram.com/aimiodawara/>



## NANCY SNAKE

ペイントアーティスト。「リアリズム」と「ロマンティシズム」を融合したサイケデリックでポップな世界観に定評がある1年に40本以上ものライブペインティングを行い、現在ではカフェやホテル、渋谷men's 109で壁画制作を行うなど、創作の幅を広げている。  
<https://www.instagram.com/nancysnake/>



## 電Q

イラストレーター。80年～90年代のレトロポップな色使いが特徴的作品を生み出し、SNSを中心に活躍中。どこか現代的なポップさもあり、独特な世界観にファンも多い。  
<https://www.instagram.com/denjing/>

## ■5F : STARBUCKS

## アートカンパニー「OVER ALLs」によるART WALLペインティング



「スターバックス コーヒー 渋谷パルコ店」の“顔”と言えるのが、アートカンパニー「OVER ALLs」による渋谷の地図をモチーフにした壁画だ。「City」から幕を開け、「Human」、「Nature」、「Love」と4段階で進化していく予定の本作は、現在「Human」の段階。「City」から「Human」への描き変えは、コロナによる休業から営業再開し、徐々に活気を取り戻し始めた中、ライブペインティングで行われた。

9月22日（水）～9月24日（金）の3日間、アーティストによるライブペイントを実施。現在の壁画テーマは「Human」、これがどの様に変化していくのか、ぜひ目の前でご覧ください。



## OVER ALLs (オーバーオールズ)

「楽しんだって、いい」を企業理念とし、『楽しい国、日本』という作品の完成を目指すアートカンパニー。抜群の発想力・ユーモアを兼ね備えた、代表:赤澤岳人と圧倒的画力を持ちながら、「伝える」を大切に描く、副社長兼画家:山本勇気を中心に、全国各地を飛び回りアートの力で「WOW!」を日本中に生み出している。

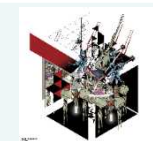
<http://www.overalls.jp/>

## ■5F : RADIO EVA STORE

## 柿川健太のエヴァンゲリオンアート作品が登場



エヴァンゲリオングッズの未だ見ぬ表現方法を模索する「RADIOEVA」の旗艦店「RADIO EVA STORE」では、ペンとマーカーを巧みに操って描かれた独創的なアート作品が魅力のアーティスト&イラストレーター柿川健太をフィーチャー。『シン・エヴァンゲリオン劇場版』の冒頭シーンからインスピレーションを受けデザインされたさまざまなパーツ。それらをベースに、力強いラインと柔らかい印象のフラワー、そこに刻まれたメッセージが絶妙なバランスで構築された、カテゴライズ不能なエヴァンゲリオンアート作品が展示される。合わせて、これらの作品を落とし込んだカットソーやTシャツなどのアイテムも販売。ファンはもちろん、そうでない人も必ずや興奮できる内容になっている。



## 柿川健太

1981年生まれ。黒のペンとマーカーを中心的に使い、動物や植物といった自然物と、建築物や機械など人工的なもの、それと記号や模様を組み合わせる事で生まれる独創的な表現を行っている。

<http://www.kakikawakenta.com/web/>

## ■7F：M.I.U. N°2

## 「VOILLD」×FACE氏によるエクスクルーシブなコラボ商品を販売



中目黒を拠点とするアートギャラリー「VOILLD」と、東京生まれのアーティスト／イラストレーターFACEが共作したスウェットシャツを発売。そして、期間中の店内は「VOILLD」とFACEによる特別な空間に。多彩なアーティストとコラボレーションしたVOILLDオリジナルグッズの展開や、FACE作品のアーカイブコレクションを展示。「VOILLD」がコンセプトとして掲げる、「気軽に触れて、楽しめるアート」が渋谷でも満喫できる。アートやカルチャーを体現する両者の特別な企画を、是非ご覧あれ。

## VOILLD（ボイルド）

2014年、東京・中目黒に設立されたアートギャラリー。東京を中心に活動を行うアーティストの展示会の開催をはじめ、ラフォーレミュージアムでのアートイベント「TOKYO ART BAZAAR」の開催、アーティストによる多彩な作品を落とし込んだオリジナルアイテムの展開、絵本の出版など、数多くのプロジェクトを手がける。  
<https://www.voilld.com/>

## FACE（フェイス）

台湾人の父と日本人の母を持つ、東京都生まれのアーティスト。アパレル、広告、雑誌を中心に国内外問わずグローバルにクライアントワークをこなしつつ、2021年のギャラリートargetの個展を皮切りに、本格的にアーティストとして作品を生み出している。  
<https://www.faceoka.com>

## VOILLD x FACE at M.I.U. No2

- 会場：渋谷PARCO 7F M.I.U. No2
- 期間：2021年9月17日（金）～10月3日（日）
- 「ART PASSPORT」特典：ご提示かつお買上げの方に、VOILLDステッカー進呈。 ※数量限定。

## ■10F：ComMunE &amp; ROOFTOP PARK

## 小見山峻 写真展『風が応える』by MIDORI.so Gallery



「リアルに寄り添ったアンチリアリティ」をテーマに現実との剥離を目指し、自身の写真を追求するフォトグラファー・小見山峻の写真展『風が応える』が、「ComMunE & ROOFTOP PARK」で開催。一見すると展示作品の多くは、何気ない日常の中に潜むかけがえのない瞬間を捉えたもののように見える。しかし、そこにもっと深い意味があることは、作家自身が本展のコンセプトとして記した「凍結した時間の結晶である写真たちに、もう一度動きを吹き込む。生地にプリントされた写真が、風通しの良い場所で揺れ動く。まるで、思い出がもう一度息を吹き返していくように。」という言葉からも明らか。「写真とは何か?」。そんなことに思いを馳せたくなる展示だ。



## 小見山峻

写真家。神奈川県横浜市出身。2018年、JWアンダーソン主催の“YOUR PICTURE / OUR FUTURE”にて日本人で唯一ファイナリストに選出されるなど、海外からの注目も集める。2018年に写真集「hemoglobin」を出版。主な個展に同名の「hemoglobin」、「冴えない夜の処方箋」、「なにものでもないものたちの名づけかた」など  
[https://www.instagram.com/shun\\_komiyama/](https://www.instagram.com/shun_komiyama/)

## 小見山峻 写真展『風が応える』by MIDORI.so Gallery

- 会場：渋谷PARCO 10F ComMunE & ROOFTOP PARK
- 期間：2021年9月17日（金）～9月20日（月）
- 入場料：無料

## no-ma

## no-ma

スペイン坂にある「no-ma」は、「渋谷PARCO」と「スマートメディア」が協業して立ち上げた新感覚スペースだ。リアルとデジタルが完全に融合する時代に、「新しいモノやコトと出会い、その体験をリアルとデジタルで共有し合える交流の場」というコンセプトのもと、「スマートメディア」がキュレーションしたD2Cブランドや商品を実際に見て体験できる。

## A group exhibition "DONOKO?" Portrait series Curated by TOKYO URBAN ART



天野タケル氏をはじめ、ENA氏、ボクサージュンタロウ氏、苦虫ツヨシ氏、ビクタータケル氏、横山惇亮氏、松本ダイスケ氏、注目のアーティスト7名の作品が展示販売される。キュレーターは、国内外で数々のアート展を手がけるTOKYO URBAN ART。ドノコと出会えるかは会場での楽しみに。

A group exhibition "DONOKO?" Portrait series Curated by TOKYO URBAN ART

■期間：2021年9月17日(金)～9月26日(日)

■会場：no-ma (スペイン坂) ■入場料：無料

■参加アーティスト：天野タケル、BOXER JUNTARO、ENA、苦虫ツヨシ、VICTOR TAKERU、横山惇亮、松本ダイスケ



## 天野タケル

painter / sculptor. Black and white, woman and man, belong and not of belongs and not, from painting and printing, to sculpting and designing, delicate in might, an artistic mind with a following of eyes from various field of life.

<https://www.instagram.com/takeruamano/>



## BOXER JUNTARO (ボクサージュンタロウ)

独学で絵を描き出しキャリアをスタート。絵の具、スプレー、ペンキなどを使い、キャンパス作品はもちろん、ウォールペイントも手がける。2013年に初の作品集『THIS IS BOXER JUNTARO』を発刊。

<https://www.instagram.com/boxerjuntaro/>



## ENA

美術専攻で高校を卒業後、油彩画、アクリル画、コラージュ、立体造形、写真、映像、音響、インスタレーションなど、固定概念や枠にとらわれず、様々な手法で自身を表現している。2020年1月より、長崎県五島列島の上五島にオープンした『HOTEL AOKA KAMIGOTO』にて31点の作品を常設展示している。

[https://www.instagram.com/e\\_n\\_a\\_58/](https://www.instagram.com/e_n_a_58/)



## 苦虫ツヨシ

国内や海外で個展やイベントなどを行う傍ら、キャラクターデザイン、ロゴや内装、パッケージデザイン、オリジナルグッズの制作など、多種多様にビジュアルディレクションの活動も展開。公式サイトではオリジナルグッズを販売中。 <https://www.instagram.com/nigamushit/>



## VICTOR TAKERU (ビクタータケル)

1998年、フランス生まれ。鉛筆を持つことができる年齢から絵を描きはじめ、その後本格的に絵画やグラフィックデザインに傾倒。彼の作品には、内気で孤立ちめな彼の性格を表した猫が登場。カラフルな世界観とともに自身の経験と愛へのビジョンを作品に落とし込む。2019年には東京に拠点を移し、初の個展を開催。現在、東京での次の展覧会に向けて準備中。 <https://www.instagram.com/victortakeru/>



## 横山惇亮 (Junsuke Yokoyama)

1982年、東京都出身。駒澤大学法学部在学中から独学で油彩画を中心に活動を開始。近年では平面作品だけでなく立体作品にも取り組み、パリ、LA等海外のアートショーに積極的に参加。ミュージシャンや数多くのアパレルブランドにグラフィックワークの提供や、自身のオリジナル作品とのコラボレーションでも参加している。 <https://www.instagram.com/junsukekeyokoyama/>



## 松本ダイスケ (DAISUKE MATSUMOTO)

1985年、鳥取県生まれの写真家。世の中に溢れているさまざまなテーマを用い、夢で見るようなストーリーを現実世界からサンプリングした事象や事柄、ありふれたイメージを使って写真に落とし込む。 [https://www.instagram.com/daisukematsumoto\\_damp/](https://www.instagram.com/daisukematsumoto_damp/)

## no-ma

## “Welcome back to your “Home Position” - 「好き」で選ぶアートをインテリアに



現代アーティストの高精細なプリント作品を販売するネットショップ「conte」が『Welcome back to your “Home Position” - 「好き」で選ぶアートをインテリアに』を開催。

本展は、自宅にいるのにスマホやPCばかりに気を取られ、ストレスを感じがちな現代社会での生活において、家の中に心が休まる場所「感性のホームポジションづくり」をすることをテーマにしている。いずれも、「conte」のコンセプトである、インテリアとしても最適な、飾りやすいアートばかりだ。アート購入初心者でも、「好き」な作品に出会う楽しさを体感でき、普段は実物を目にするできない高精細なプリントを、実際に目にする事ができる貴重な機会。

Welcome back to your “Home Position” - 「好き」で選ぶアートをインテリアに

■期間：2021年9月28日（火）～10月4日（月）

■会場：no-ma（スペイン坂）

■入場料：無料

■参加アーティスト（一部）：朱沢愛華、池田ジュンイチ、icco Yoshimura、Kao、Keiko Okano、工房照在（こうぼうてあ）、さしみ、sio.、すぎうらひろあき、鳥飼規世、neuronoa（ニューロノア）、Hana Hemmi、濱谷陽祐、BANBU、日南田淳子、ヒロ・ヤタベ、古河博章、宝月輝、堀内朗、ほんじょうれいこ、水田彩生、目黒千尋、Morita Manabu by WOOD、森本サンゴ、YURICO他

■ART PASSPORT特典：ご提示の方、チョコレートを進呈。

## AND MORE

## GALLERYなどの対象店舗で提示するとオトク！ART PASSPORT



ミュージアムやギャラリー等の対象店舗で入場チケットまたは商品をご購入頂いた方へ、さまざまな特典を受けられる「ART PASSPORT」を進呈。PARCO MUSEUM TOKYO、WHITE CINE QUINTO、GALLERY X、ほぼ日曜日等でご提示いただくと、OFFやノベルティなどお得なサービスを受けることができる。

■対象店舗：GALLERY X（B1F）/COMINGSOON（1F）/OIL by 美術手帖（2F）/PARCO MUSEUM TOKYO（4F）/Meets by NADiff（4F）/ほぼ日カルチャ（4F）/M.I.U. N°2（7F）/WHITE CINE QUINTO（8F）/ほぼ日曜日（8F）/no-ma

■期間：2021年9月17日（金）～10月3日（日）※ART PASSPORTは数量限定・なくなり次第配布終了。

■詳細URL：<https://shibuya.parco.jp/pnews/detail/?id=13359>

## ポケパル払いで10%キャッシュバックキャンペーン

期間中、渋谷PARCOにて「ポケパル払い」でお買物していただくと、最大5万円分のお買物まで10%キャッシュバック。※先着500名様。

■期間：2021年9月17日（金）～10月3日（日）

■詳細URL：<https://shibuya.parco.jp/pnews/detail/?id=13358>